

【アンバーホール「動物の謝肉祭」公演】

アンバーホールに訪れる子どもたちの足取りは軽く、入口で日本フィルからの贈り物であるキティちゃんのクリアファイルとパスケースを笑顔で受け取ってくれました。1月21日は小中学生と保護者で150人ほど。翌22日は未就学児から保護者まで、400人ほどのお客様がホールに集まりました。

アイネ・クライネ・ナハトムジークに始まり、音楽家専門外のおもちゃ（楽器？）と弦楽3部の掛け合いで楽しい「おもちゃの交響曲」。プログラムには入っていなかった急遽サプライズプレゼントの打楽器デュオでは、おなべやカップが打楽器として登場しました。武田美和子さんと中井恒仁さんのピアノデュオは「花のワルツ」や、ラフマニノフの＜組曲第2番＞より激しい「タランテラ」。

第1部で色とりどりのアンサンブルを楽しんだあとは、江原陽子さん司会の「動物の謝肉祭」です。杉並の女子美術大学がこの作品のために製作してくれたスライド、江原さんの穏やかな司会が、サン=サーンスの音楽の魅力を最大限に子どもたちに伝えていました。このコンサートにはクラリネットの日比野裕幸さん（元仙台フィルハーモニー管弦楽団奏者）も助演に駆けつけて下さいました。第3部の「みんなで歌おう」では＜さんぽ＞の歌で、日本フィルの力強いマーチのリズムと、久慈の子どもたちの声が一体となっていました。

「広報くじ」のインタビューを受けた打楽器の福島喜裕は、「音楽家たちが具体的にどういう風に力になれるかというのはすごく弱いものだと思うんです。音楽を通じて、聴きに来られた子どもたち、保護者の皆さん。とにかく子どもと家族が一緒に来られて、一つのところで音楽を共有できるということが最高の幸福ではないかと。今回の音楽会を通じて、希望とか将来に結びつくようなものを感じてもらえばよいですね。」と答えていました。
久慈のバスターミナルで帰りのスワロー号に乗ろうとしたら、運転手さんが驚いて「こんなにたくさん的人がバスに乗ってきたのは、正月以来だ！」と叫んでいました。バスの中で、久慈病院のコンサートを聴いたという女性から「今から東京へ帰るのですか？コンサート聴きました、よかったです」と声をかけられました。



日本フィル「被災地に音楽を」 訪問コンサート実施一覧

2011年

- 4月6日福島県二本松市東和文化センター避難所
5月4日福島県会津若松市文化センター
5月6日埼玉県加須市騎西小学校（福島県双葉町児童対象）
5月8日宮城県名取市増田西小避難所
　同市閑上（ゆりあげ）地区日和山
　同市文化会館避難所
5月9日宮城県気仙沼市階上（はしがみ）中学校避難所
　同市松岩公民館避難所
　同市面瀬中学校避難所
5月10日宮城県石巻市石巻高校避難所
　同市湊小学校避難所
　同市門脇中学校避難所
　同市石巻中学校避難所
　同市北上子育てセンター避難所
5月12日埼玉県加須市騎西中学校（福島県双葉町生徒対象）
6月4日岩手県花巻市山の神温泉「幸迎館」
6月5日岩手県釜石市甲子中学校避難所
　大船渡市リアスホール避難所
　福島県三春町田園生活館避難所
6月6日福島県三春町営体育館避難所
　同町三春小学校避難所
6月25日福島県二本松市JICA二本松研修センター避難所
　同市あだたら体育館避難所
　南相馬市鹿島保険センター避難所
6月26日福島県大玉村フォレストパークあだたら避難所
　南相馬市原町第二中学校体育館避難所
　道の駅南相馬／原町第一小学校体育館避難所

7月10日宮城県南三陸町 志津川高校体育馆

ホテル觀洋避難所

7月11日同町志津川中学校多目的ホール

8月6日宮城県気仙沼市

日本バプテスト教会（愛耕幼稚園内）

同市小泉中学校避難所

同市階上小学校避難所

10月4日宮城県東松島市立鳴瀬第一中学校

石巻市北上中学校（避難所近接）

5日同市石巻専修大学（避難所近接）

同市「あとりえDaDa」（協力：女子美術大）

同市追分温泉旅館（避難所）

6日仙台市「泉白陵会」（介護施設）

7日同市「愛泉会」（障害者施設）

10月20日福島県いわき市江名中学校

同市下神白第一集会所

21日同市内郷第二中学校

10月26日茨城県東茨城郡大洗町南中学校／第一中学校

11月21日岩手県陸前高田市第一中学校

22日花巻市山の神温泉「幸迎館」

11月24日福島市松川町 みず和の郷／飯野学習センター

25日同市松陵中学校／南体育馆研修室

2012年

- 1月20日岩手県久慈市山村文化交流センター（おらほーる）
　県立久慈病院
21日久慈市文化会館「動物の謝肉祭（小中学生向）」
22日同上「動物の謝肉祭（親子向）」